

復興と創造

宮城県の目指す「創造的復興」の芽が育ち、復興に向けた動きが目に見える形で進んできた。東日本大震災後、クローズアップされたエネルギー問題や産業構造の高度化、地域コミュニティ強化で鍵を握るのがICT（情報通信）技術の使い方だ。「復興と創造」4

今回は「スマート技術と未来都市」をテーマに、先端技術を駆使して復興を支える企業のリーダーと村井嘉浩宮城県知事が対談。スマート技術を生かした農業や水産業の進化、新しいビジネスモデル、地域モデルの可能性などを話し合った。



にこやかに対談する(左から)橋本孝之日本アイ・ビー・エム会長、村井嘉浩宮城県知事、嶋村茂治みらい代表取締役社長＝宮城県庁

スマート技術と未来都市

被災地で壮大な実験 村井氏

村井 情報とエネルギーを最適化して生活に生かすのがスマート化。ICTに慣れた若者の街をモデルにするものが多いが、震災復興の中で、少子高齢化、過疎化が進む沿岸部においてスマート化を取り組むことは、これからの日本のモデルにならざるを得ない。県の復興計画のポイントを一つとして「スマート」を植物工場に活用している事例。カ

例を紹介する。気仙沼市の赤岩港では9社11工場の水産加工団地で割く安電を共同で調達し、利用状況をICTで管理して稼働している。もう一つはトヨタ自動車東日本が立地する工業団地内でエネルギーを効率的に供給している事例。カ

スマート技術と農業・水産業

嶋村 日本では、農地はあり、新しい農業が求められていないとされている。震災は非常に大きな出来事だったが、バネに安定的に作物を作れた歴史を完全な計画生産を実現する。ICTタグ価値高める 橋本氏

6次産業化を進めることが極めて重要だ。そこで一つの鍵になるのが、ICTを活用したスマート化だ。現在、石巻市北地区で農家、民間企業、市との連携による、大規模な施設整備計画を進めている。ICTは、栽培・生産、ある物の価値をさらに上げ、1次産業従事者の収入底上げにつながる。

村井 産学官連携、人材育成の面でも行政の役割は非常に大きい。行政の強みは信用力であり、産学間の接合剤としての役割を積極的に果たしたい。政府が進める規制改革は地方でも必要と考える。私が提唱した水産特区はさまざまな意見を聞いたが地域の協力、民間の力を借りて前進している。これにICTを絡めれば水産業の新しい形が見えると思う。

対談編



新エネルギー事業者の誘致もしている。橋本 創造的復興を加速させるためには例えばICTと農業の両方が分かる人材の育成が欠かせない。補助金の欠けはやる気のある人に出資するシステムや、県単位や東北全体でスケールが大きく事業を展開できる仕組みも必要だ。

価値創り出し成長推進

スマート技術と農業・水産業

嶋村 日本では、農地はあり、新しい農業が求められていないとされている。震災は非常に大きな出来事だったが、バネに安定的に作物を作れた歴史を完全な計画生産を実現する。ICTタグ価値高める 橋本氏

6次産業化を進めることが極めて重要だ。そこで一つの鍵になるのが、ICTを活用したスマート化だ。現在、石巻市北地区で農家、民間企業、市との連携による、大規模な施設整備計画を進めている。ICTは、栽培・生産、ある物の価値をさらに上げ、1次産業従事者の収入底上げにつながる。

村井 産学官連携、人材育成の面でも行政の役割は非常に大きい。行政の強みは信用力であり、産学間の接合剤としての役割を積極的に果たしたい。政府が進める規制改革は地方でも必要と考える。私が提唱した水産特区はさまざまな意見を聞いたが地域の協力、民間の力を借りて前進している。これにICTを絡めれば水産業の新しい形が見えると思う。

ICTタグ価値高める 橋本氏

6次産業化を進めることが極めて重要だ。そこで一つの鍵になるのが、ICTを活用したスマート化だ。現在、石巻市北地区で農家、民間企業、市との連携による、大規模な施設整備計画を進めている。ICTは、栽培・生産、ある物の価値をさらに上げ、1次産業従事者の収入底上げにつながる。

村井 産学官連携、人材育成の面でも行政の役割は非常に大きい。行政の強みは信用力であり、産学間の接合剤としての役割を積極的に果たしたい。政府が進める規制改革は地方でも必要と考える。私が提唱した水産特区はさまざまな意見を聞いたが地域の協力、民間の力を借りて前進している。これにICTを絡めれば水産業の新しい形が見えると思う。

日本再興のビジネスモデル、地域モデル

橋本 都市に関するスクウェアは競争率が上がらない。多面的な発想で、行政サービス、盛岡市では防災情報システム、エネルギー、交通システムの二重化、可視化によりシステム医療、教育、公共有事の要援護者を把握する。水産資源管理の分野でも期待できる。ICTタグ価値高める 橋本氏

6次産業化を進めることが極めて重要だ。そこで一つの鍵になるのが、ICTを活用したスマート化だ。現在、石巻市北地区で農家、民間企業、市との連携による、大規模な施設整備計画を進めている。ICTは、栽培・生産、ある物の価値をさらに上げ、1次産業従事者の収入底上げにつながる。

村井 産学官連携、人材育成の面でも行政の役割は非常に大きい。行政の強みは信用力であり、産学間の接合剤としての役割を積極的に果たしたい。政府が進める規制改革は地方でも必要と考える。私が提唱した水産特区はさまざまな意見を聞いたが地域の協力、民間の力を借りて前進している。これにICTを絡めれば水産業の新しい形が見えると思う。

植物工場で国際貢献 嶋村氏



宮城大が植物工場をきっかけに人材交流が始まっている。地理的に近い場所でも共通の仕組みがある。私が提唱した水産特区はさまざまな意見を聞いたが地域の協力、民間の力を借りて前進している。これにICTを絡めれば水産業の新しい形が見えると思う。

家庭や企業だけでなく、さまざまな知識が得られる。北九州スマートコミュニティ創造事業の実証で都市部でのエネルギー使用を削減した。専門知識を起した人材確保は創造的復興を進める上で重要な役割を果たしている。ICTタグ価値高める 橋本氏

6次産業化を進めることが極めて重要だ。そこで一つの鍵になるのが、ICTを活用したスマート化だ。現在、石巻市北地区で農家、民間企業、市との連携による、大規模な施設整備計画を進めている。ICTは、栽培・生産、ある物の価値をさらに上げ、1次産業従事者の収入底上げにつながる。

村井 産学官連携、人材育成の面でも行政の役割は非常に大きい。行政の強みは信用力であり、産学間の接合剤としての役割を積極的に果たしたい。政府が進める規制改革は地方でも必要と考える。私が提唱した水産特区はさまざまな意見を聞いたが地域の協力、民間の力を借りて前進している。これにICTを絡めれば水産業の新しい形が見えると思う。

宮城大が植物工場をきっかけに人材交流が始まっている。地理的に近い場所でも共通の仕組みがある。私が提唱した水産特区はさまざまな意見を聞いたが地域の協力、民間の力を借りて前進している。これにICTを絡めれば水産業の新しい形が見えると思う。

シリーズ「復興と創造—みやぎ発イノベーション」は本年度内に6回の掲載を予定し、3月まで原則として第1日曜日の河北新報に掲載します。第3部は2、3月の掲載を予定しています。企画は河北新報社企画事業部、協力は宮城県。

みらい 東京に本社、多賀城市などに拠点を持つ植物工場ベンチャー。2012年秋、みやぎ産業振興機構が運営する「みやぎ復興パーク」でレタス栽培の植物工場を操業。14年6月、発光ダイオード(LED)照明活用新工場を稼働させた。

日本アイ・ビー・エム 東京に本社を置く外資系のコンピューター関連サービス企業。日本市場に合わせ社会、産業界に貢献しながら成長。震災後は石巻市と組んで産学官協働組織に参加。最先端の新しいエコタウン創造プロジェクトを支援。

いつも、新しい答えを。

HINOKIYA

新しい人と出会う。新しい声を聞く。新しい住まいを考える。新しい暮らしを想う。住まうこと。暮らすこと。人が生きていく、その舞台にどんな新しい価値を届けられるだろう？ 私たちはつねに問い続け、そして、新しい答えを出しつづけていきます。

注文住宅からはじまった私たちの事業は、断熱材、不動産、リフォーム、賃貸住宅とその領域を広げ、近年は、保育・介護事業にも新たに挑戦しています。ヒノキヤは、これからも動きつづけます。

すべては、お客様に安心して頂ける住まいと暮らしのために。ヒノキヤは、住まいと暮らしの「ワンストップソリューションカンパニー」へ。

断熱材事業

注文住宅事業

不動産事業

リフォーム事業

賃貸住宅事業

介護・保育事業

株式会社 検査ホームホールディングス 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3 丸の内トラストタワー本館7階 TEL:03-5224-5121(代表) FAX:03-5224-1077 http://www.hinokiya-group.jp/

(株) 検査住宅東北 仙台市若林区六丁の目南町2-28 TEL:022-781-5705 仙台中山展示場 仙台長町展示場 仙台東口展示場 岩手展示場 利府展示場 岩沼展示場 石巻展示場 石巻西展示場 岩沼朝日展示場(今夏OPEN予定) 山形清水展示場(今春OPEN予定)